

20. 糖尿病性末梢神経障害に対するカプサイシン軟膏の効果

筆内 章, 松沢康雄, 森本直樹
林 良明, 永井 順 (沼津市立)

糖尿病性末梢神経障害による下肢痛およびしびれ感を有する患者20例にカプサイシン軟膏を使用し, その薬効を検討した。その成績は有効例16例(80%), 無効例2例(10%), 悪化例2例(10%)であった。またサーモグラフィーによるカプサイシン軟膏塗布前後の検討によると, 薬理効果として皮膚の血管拡張因子の関与が考えられた。

21. 副腎皮質過形成・腫瘍の病態

桑原憲一, 渡辺桂子, 杉本豊彦
田中 徹, 趙 龍桓, 斉藤一郎
大村昌夫, 西川哲男 (横浜労災)

今回われわれは, 開院後1年の間に当院で画像上副腎腫大を指摘され, さらに画像的, および内分泌的精査を施行した21症例(副腎過形成11例, 副腎腫瘍9例, 副腎外腫瘍1例)を, 診断別に分類し, 比較検討を加えた。諸検討の結果, 副腎皮質過形成・腫瘍の病態診断には, 形態面で腹部 CT, 副腎静脈造影所見が, 機能面では血中および尿中副腎ホルモン検査, 内分泌負荷試験, 副腎静脈採血が特に有用と考えられた。

22. 原発性副腎皮質機能低下症3例の比較検討

渡辺桂子, 杉本豊彦, 田中 徹
大村昌夫, 西川哲男 (横浜労災)

原発性副腎皮質機能低下症の原因として, 従来副腎結核が過半数を占めていたが, 抗結核剤の進歩により比較的稀な疾患となり, 自己免疫機序と考えられる特発性の割合が増加している。今回われわれは, 腹部 CT にて副腎の腫大と石灰化像がみられた副腎結核の1例, 橋本病を合併した Schmidt 症候群の1例, 肺大細胞癌の両側副腎転移により副腎不全をきたした1例を経験し, その病態比較を行ったので, 報告する。

23. 高齢者 ACTH 単独欠損症の2例の検討

杉本豊彦, 大村昌夫, 西川哲男
(横浜労災)

われわれ横浜労災病院内科では, 開院以来約1年間で2例の高齢者 ACTH 単独欠損症を経験した。2例ともに痴呆症状を主徴としており, 高齢者で痴呆症状を呈す

る中に, 本症が存在し得ると考えられた。また諸家の報告にない血小板減少症を示したものがあり, その臨床経過から本症に合併したのと考えられ興味ある知見であり, 引き続きその成因に関して検討を行っていきたい。

24. 意識障害を来した骨 Paget 病の1例

鈴木潤子, 伊藤浩子, 佐々木憲裕
金井英夫, 明星志貴夫

(川鉄・内科)

栗原 真 (同・整形外科)

堀江 弘

(千葉県立こども病院病理部)

骨 Paget 病は, 1877年 Paget により報告された疾患で欧米では剖検の3~4%に認められるが, 本邦では比較的まれで130例余の報告があるに過ぎない。顔面, 軀幹に変形をきたし, 病的骨折なども認める。生命的予後は, 骨肉腫, 心不全を併発しない限り良好と言われている。今回私たちは, 42歳男性で, 意識障害をきたし, また, 内分泌障害を併発したと考えられる骨 Paget 病の1例を経験したので報告した。

25. Malignant Schwannoma を合併した Werner 症候群の1例

松本 功 (成田日赤)

山崎 健也, 村野俊一 (千大)

梅田 透

(国立がんセンター東・整形外科)

症例: 38歳, 女性。主訴: 右前腕部の腫脹。Werner 症候群で家系にも Werner 症候群, 悪性腫瘍あり。訴えにより生検にて診断, 手術。組織は典型的な malignant Schwannoma 像を呈し, 染色体分析で染色体は41本, 17本が欠損, 5本で転座が認められ, Origin 不明の染色体が12本認められるなど多彩な異常が見出された。Werner 症候群では染色体の断裂が起こりやすく, 本症例でも発癌のメカニズムとしてそれを介した癌遺伝子の活性化が推測された。